

(一財)新潟ろうきん福祉財団

2019年度 自立した持続可能な地域社会創造助成事業

総額 766.8万円の 助成決定 9団体

「自立した持続可能な地域社会創造助成事業（以下、地域社会創造助成事業）は、2013年度から一般財団法人新潟ろうきん福祉財団がスタートさせた助成事業です。

新潟県内における地域おこしや地域資源を活用したコミュニティビジネスの振興などを通じて地域の暮らしを支え、伝統文化を維持し、農地の管理や森林の保全を通して自然環境を守るなど、地域社会創造を推進する地域住民団体、農業法人等の企業、自営業、NPO等市民活動団体を資金面から支援することを目的としています。助成金額の上限は、200万円、最長3年間（3年間の上限助成金額500万円）の継続助成を受けることが可能な大型助成事業となっています。

2019年度地域社会創造助成事業の応募団体は17団体で、このうち9団体（団体名、金額、内容は裏面詳細）を採用いたしました。本助成事業は、セミナーなどを含む4つの事業で構成され、地域づくりと仕事おこしを支援しています。



選考委員による書類選考（8月9日）、面接選考会（8月22日）を経て、助成先を内定。



地域づくりの活動や事業運営に係る実践的なコーディネート技術を学ぶ機会を提供する「地域づくりコーディネーター養成講座」は、本助成の採択団体に参加特典（1団体につき2名まで受講料免除）を設け、今年度は7月と9月に一泊二日の合計4日間で開催。



地域づくりに役立つ知識の習得と、参加者相互の情報交換・ネットワークづくり、並びに当財団事業の説明・周知を図ることを目的に毎年春に県内3地区で開催する講座「にいがた旬塾」。



助成団体の成果報告会とあわせ、地域づくりの実践者や見識のある専門家の講演会、参加者相互のネットワークづくりを目的に、毎年秋に開催する「地域づくりセミナー」。



■実績累計

	応募団体	助成団体	助成金額
2016年度までの累計	105	42	4,865万円
2017年度	25	10	937.2万円
2018年度	10	5	623万円
2019年度	17	9	766.8万円
総累計	157	66	7,192万円

■選考委員

◎=選考委員長 ○=副選考委員長

(五十音順・敬称略)

氏名	備考
大滝 聡	(特非)まちづくり学校 代表理事
樺沢 敦	FARM8株式会社
◎ 金子 洋二	地域と組織のデザイナー スタジオ・ファイル
○ 桑原 幸子	(特非)魚沼交流ネットワーク 副理事長
笹川 克年	新潟日报社 運動部
田中 咲子	新潟大学 准教授
中村 昇	(一財)新潟ろうきん福祉財団 元事務局長
三浦 絵里	(特非)かみえちご山里ファン倶楽部

(一財)新潟ろうきん福祉財団は、〈新潟ろうきん〉が創立30周年を記念して1983年に設立した財団です。当財団の事業を通じて〈新潟ろうきん〉の社会的役割の発揮、社会貢献活動として広く県民の暮らしの向上と福祉の増進に役立つことを目的としています。自立した持続可能な地域社会創造事業の他、NPO等助成事業、高校生奨学金給付事業、大学生奨学金給付・貸与事業、文化講演会等開催事業、にいがたワーク&ライフフォーラム・セミナー開催事業、調査・研究事業、ライフプランセミナー開催事業等に取り組んでいます。

一般財団法人 新潟ろうきん福祉財団

〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地2 勤労福祉会館4階 TEL025(288)5273 URL <http://www.zaidan-hukushi.or.jp>

■助成団体一覧

団体名	所在地	助成額 (万円)	助成金使 途
特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター	村上市	151.6	<p>[村上地域における障害者アートを活かした商品開発・販売事業化(ビジネスモデルの構築)]</p> <p>当団体は、2019年秋に開催される全国障害者芸術文化祭にいがた大会・下越座(作品展示会)のコーディネートを担当しており、その準備を進める過程で、数多くの障がい者アートに出会った。非常にアート性の高い作品が多々あり、これらはとても貴重な地域資源である。専門家がしっかりとデザインし、地元企業と協働で商品開発とビジネスモデルの構築(資金循環の仕組み)を行えば、障がい者の新たな収入源になる可能性を多分に秘めている。しかし、全国障害者芸術文化祭にいがた大会下越座は、基本的に作品展示が中心であるため、本格的な商品開発を行う余地は無い。専門家や地元企業が企画段階から参画し、障がい者アートを活かした商品開発・販売の事業化(ビジネスモデルの構築)。これが本事業の目的である。</p>
NPO法人 福井旧庄屋佐藤家保存会	新潟市 西蒲区	140.0	<p>[福井旧庄屋佐藤家を核とした地域コミュニティの活性化事業](2年目)</p> <p>地域に唯一残された茅葺き屋根の古民家佐藤家を拠点に、地域資源や地域の人と地域外から訪れる人をつなぎ、交流人口を増やすことで、持続可能な地域づくりを目指します。</p>
一般社団法人 櫛池農業振興会	上越市	122.0	<p>[中山間地域におけるコミュニティビジネス(特産品開発・都市交流)推進事業]</p> <p>過疎・高齢化が進む中山間地域の維持再生を目指すには、これまで培ってきた櫛池型農業を継続し、さらに遊休農地を活用した新規特産品開発・加工と都市部への農産物販売促進による雇用と所得拡大を図る。また、都市民との自然豊かな農村体験ツアーを開催し、相互理解と交流・支援を進め、農山村との交流・移住のモデル地域を目指す。</p>
はつめの会	村上市	84.8	<p>[古民家における囲炉裏文化の再生]</p> <p>再生した古民家で囲炉裏の火を囲んで食したり、交流したりできる場を整備する。</p>
福山新田山暮らし支援会	魚沼市	82.4	<p>[来福者向け交流・滞在施設の設備]</p> <p>山暮らし体験ツアーなどの活動を通じ、福山との関係を深めたい・広めたいと考える人が増えている。そこでそのような外部人材が、もっと気軽に友人・知人を連れてきて、滞在しながら地区住民とも交流できる環境を整備する。</p>
元気すもんプロジェクトチーム	魚沼市	60.0	<p>[元気すもんプロジェクト「地域の拠点づくり」](2年目)</p> <p>人口減少が進む中、この地域に生活している人々が「笑顔で、元気に、生き生きと生活していくことが大切だ」と考える。そして、守門地域の未来のためには、住民一人ひとりが培ってきた様々な技や能力、個性を地域のために発揮することが重要である。地域住民の様々な力を発揮する場所、活動、交流する場所としての「地域の拠点」が必要である。</p>
だんだんど〜も 只見線沿線元気会議	魚沼市	48.0	<p>[只見線パンフレット作成事業(インバウンド対応)](3年目)</p> <p>2021年度末の全線再開通によって、関東圏から只見線経由で東北圏への周遊ルートが完成する。その間に、只見線・魚沼の素の魅力を発信することが重要である。2018年度の助成事業で作成したマップの「ダイジェスト版(日本語・英語・中国語)パンフレット」を作成し、インバウンド対応を行っていく。また、只見線の車窓から見える自然や歴史・文化を伝える「只見線車窓ガイドブック」(テキスト)の作成。</p>
結トピア貝塚	新発田市	48.0	<p>[竹林資源ブランド化(白子たけの子)事業](2年目)</p> <p>長く放置され荒廃する竹林を集落の住民の“結”活動で整備管理し、そこで収穫される竹の子を再評価、ブランド化して価値を高め、収益性を確保して事業化を目指す。</p>
特定非営利活動法人 五泉トゲソの会	五泉市	30.0	<p>[国登録文化財坂田家の保存団体設立と持続可能な地域拠点の整備と事業展開]</p> <p>当会は絶滅危惧種トゲソの保全を図りながら、地域財である国登録有形文化財坂田家の活用保存を行ってきた。今まではトゲソの会と坂田家は一体となって活動をしてきた。この度、坂田家の持続可能な発展と根本的な財政基盤づくりを目指し、単独での保存団体設立を進めたい。そして坂田家が今後とも地域で利用・活用され、将来にわたり維持ができることを目的とする。</p>
合 計 (9団体)		766.8	